

DX戦略実現に向けた取組み状況

2025年 7 月
北陸電力株式会社

1. 北陸電力DX戦略の紹介	…P2
2. 北陸電力DX戦略実現に向けた取組み状況	
1).業務の高度化	…P3
2).柔軟・効率的な働き方	…P4
3).付加価値サービス提供	…P5
4).地域の課題解決・貢献	…P6
5).システム基盤の見直し	…P7
6).DX人材の育成	…P8
3. 今後のDX推進方針	…P9

北陸電力ではDX戦略で3つの方針と6つのActionを掲げ取組みを推進

■ 2050年の将来像

地域とともに、持続可能なスマート社会を目指して

■ 新中期経営計画の経営の3本柱

柱Ⅰ

安定供給確保と収支改善および財務基盤強化

柱Ⅱ

地域と一体となった脱炭素化の推進

柱Ⅲ

Ⅲ.持続的成長に向けた事業領域の拡大

方針① 生産性向上

Action①

業務の高度化

Action②

柔軟・効率的な働き方

**北陸電力
DX**

方針② 新たな価値創造

Action③

付加価値サービスの提供

Action④

地域の課題解決・貢献

方針③ 変化に対応可能な環境整備

Action⑤

システム基盤の見直し

Action⑥

DX人材の育成

1). 業務の高度化 | 石炭配船計画最適化

2024年11月にAIを用いた配船計画最適化システムの運用を開始し、各種インプットデータを活用することで高精度の配船計画策定を実現

目的

- より経済的な燃料調達の実現および配船計画業務の工数削減

実施事項

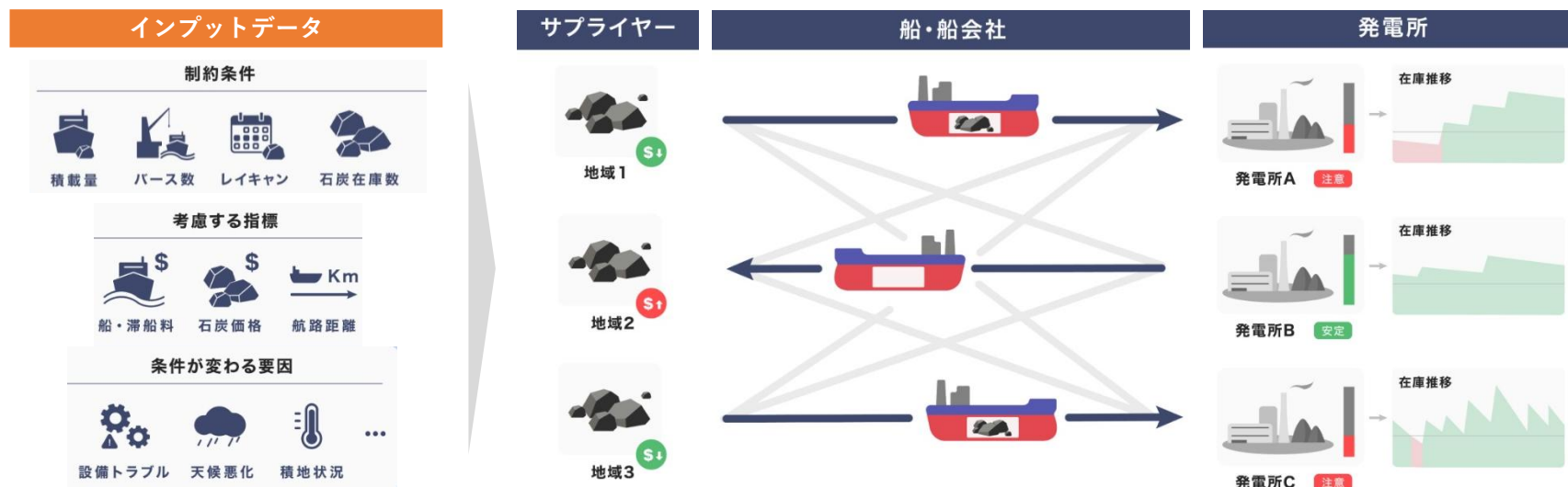
- 計画最適化ソリューションを持つ（株）ALGO ARTISの配船計画最適化システムである「Optium」を導入
- 実務上の運用ルールや価格等のデータを活用し、高精度の計画策定が可能となる独自アルゴリズムを開発
(参考) <https://www.algo-artis.com/case-post-hokurikudenryoku>

成果

- 情報の一元管理により「短時間でコスト最適な計画策定」や「瞬時の計画修正」が可能となり、配船業務全体の生産性が向上

イメージ

多種多様なインプットデータを活用することで、安定在庫を保ちつつ経済性を考慮した配船計画を作成



2). 柔軟・効率的な働き方 | kintone、FAQツール

2023年度にノーコードツールkintoneを全社導入（2025年4月からグループ大に利用拡大）
2025年1月にはFAQツールの運用を開始し、6月に生成AIチャットボット機能を拡充

目的

- デジタルツール・AIの積極的な活用による、グループ大での大幅な労働生産性改善

実施事項

- kintoneを全社に導入し、業務に適したアプリ開発（市民開発）を推進
グループ各社にもkintone導入。諸届申請業務等の共通業務のアプリを水平展開し、紙や手入力を極力削減
- 社内規則やマニュアル等をツール上で一元管理。AIによる回答生成機能を拡充し、検索や問合せ対応時間を削減

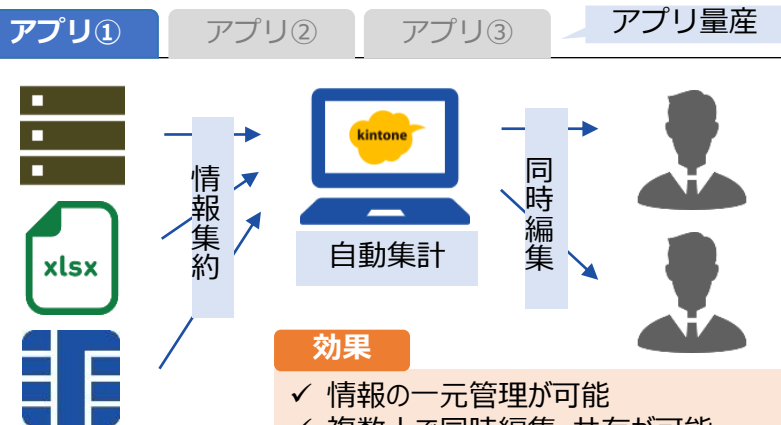
成果

- kintoneでは約400個のアプリを作成 ※

※2025年3月末時点

イメージ

kintoneで情報を集約し、各種作業を効率化

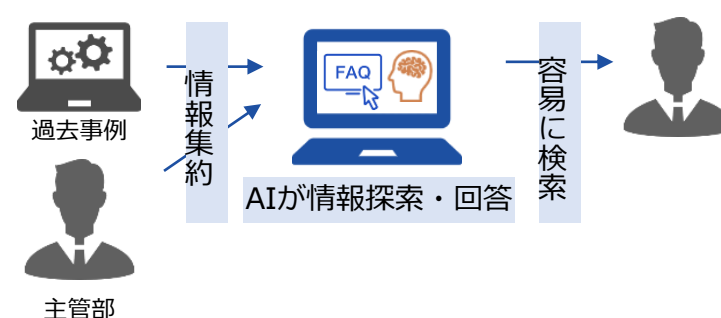


効果

- ✓ 情報の一元管理が可能
- ✓ 複数人で同時編集・共有が可能
- ✓ データ分析が簡単（自動集計）
- ✓ 誰でも簡単にシステム開発が可能

kintoneはサイボウズ(株)の登録商標です

FAQ + AI活用で情報収集を効率化



効果

- ✓ 情報検索が容易に
- ✓ AIによる回答生成
- ✓ ツール内からチャットで問合せ
- ✓ 履歴から必要なFAQをAIが提案

3). 付加価値サービス提供 | ほくリンクアプリ:DRサービス、電気でつながりサポート

2024年4月からDRサービス（ほくリンクアプリde節電・昼とくチャレンジ）を提供開始
 2025年1月から離れて暮らす家族をみまもる「電気でつながりサポート」を提供開始

目的

- デジタル技術を用いてお客さまの暮らしをサポートする新サービスの提供による、顧客提供価値の向上

実施事項

- 指定時間へ電気のご使用をシフトいただくと、実績に応じポイントを進呈するDRサービスを提供
サービス提供開始に合わせ、自社アプリへの初回ログインやイベントでもポイントを付与
- 離れて暮らす高齢者等の生活状況を電力利用データに基づいてみまもることができるサービスを提供

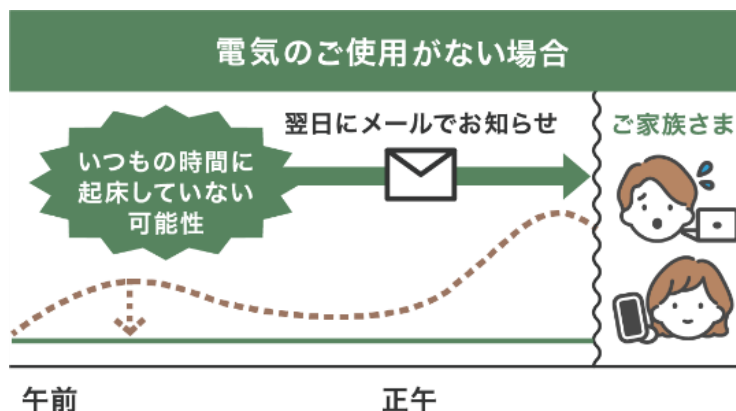
成果

- ほくリンクアプリ：約31万DLを達成 ※

※2025年3月末時点

みまもり対象となる方の電気使用量を収集・分析し、
 日常の活動が確認できない場合、みまもる方
 (ご家族さま)にメールでお知らせ

イメージ



電気の使用をシフトいただいたお客さまに
 ポイントを付与するDRサービスを提供開始



4). 地域の課題解決・貢献 | 次世代層向け教育・学習WEBサイト

2024年3月に次世代層向けWEBサイト「北陸電力ワンダーラボNEXT」を開設

URL <https://wonderlab-next.rikuden.co.jp/>



目的

- デジタルコンテンツによる次世代層へのエネルギー事業への関心喚起・科学的好奇心の育成

実施事項

- 2023年2月に閉館したエネルギー科学館の理念を引き継ぎつつ、北陸地域の次世代層へエネルギー教育を提供するため、WEBサイト「北陸電力ワンダーラボNEXT」を開設
- 同サイトでは360°カメラを活用した発電所のバーチャル見学コンテンツを提供
- その他、実験動画やデジタル教材、クイズコーナーなどの様々なコンテンツを発信

成果

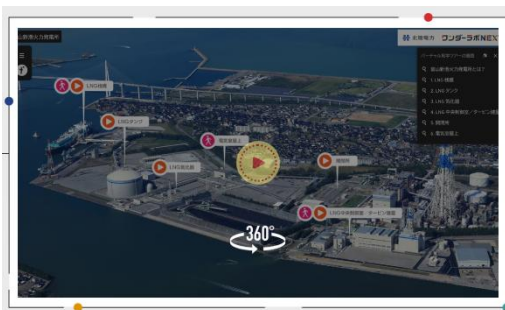
- 多くの次世代層に学習機会を提供（アクセス数：約22万件※）

※2024年度実績

テーマごとに多様なコンテンツを発信

エネルギーへの関心喚起

北陸電力アーバンチャー

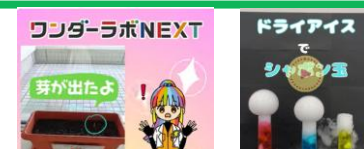


発電所バーチャル見学（富山新港火力発電所）



科学的好奇心の育成

なんでコングラレービー



実験動画の配信

エネルギー問題の理解

めざせ！エネルギー博士



デジタル教材の提供

イメージ

5). システム基盤の見直し | アジャイル開発の推進

各部に共通する業務の効率化に向けて、生成AIチャットアプリの新たな機能をアジャイル開発で追加

目的

- 社員の業務効率化に資する [システムの早期提供](#)
- アジャイル開発体制・考え方の定着による [DX推進のスピードアップ](#)

実施事項

- 各部に共通する業務（文書作成、情報収集、分析等）を効率化するために、[生成AIチャットアプリ\(LingoGPT\)を内製し、機能単位ごとに開発・追加](#)
- 様々な形式での情報入力、Web検索、RAG等の機能追加や各種UIを改善

成果

- 全社延べ[利用者割合約70%](#)、一週間当たりの利用者割合([WAU率](#))[約25%](#) ※

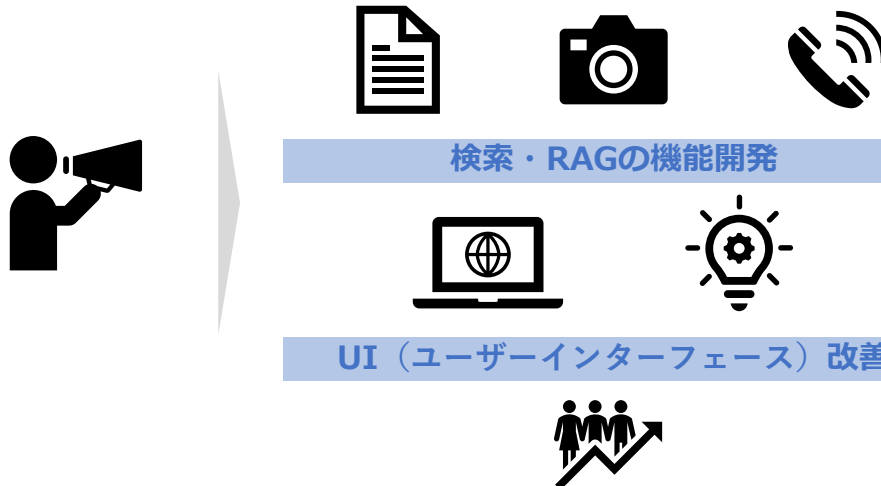
社員の声（改善要望・アンケート等）を踏まえ、アジャイルで随時機能追加 ※2025年3月末時点

社員の声

マルチモーダルな処理機能の開発

アジャイルな機能追加

イメージ



聞きたいことを入力してね
>>

回答
>>

6). DX人財の育成 | 階層別教育の実施

DX人財の階層別にセミナーや外部のWeb講座・テストなどを活用し、教育を実施

目的

- 社員の知識・マインド向上による、現場における迅速かつ持続的なDXの実行・浸透

実施事項

- DX人財の階層別に、最適なDX教育の機会を設計・実施
 - DX推進人財に対しては、Udemy（ベネッセの動画学習サービス）を活用した教育および認定を実施
 - DX活用人財に対しては、DXマインドアップセミナーやkintoneに関するワークショップを実施

成果

- 全従業員がDX活用人財教育を受講 ※

イメージ

DX戦略で定義した階層別DX人財それぞれに対し、十分な量・質の教育機会を付与

※2024年度実績

専門スキル教育とテスト、ワークショップの実施（予定）

DXコア人財

1%程度

- ✓ DX推進人財の認定者の中から、コア人財の候補社員を選定
- ✓ Web講座等を受講し、総合テストを受験
- ✓ 課題特定、プロセス設計、ツール導入計画策定の流れをワークショップで習得

Udemyを活用した教育・人財認定

DX推進人財

10%程度

- ✓ DX推進人財の要件を踏まえ、候補社員を各部で選定
- ✓ UdemyにてWeb講座を受講
- ✓ 受講後に総合テストを実施し、合格者をDX推進人財として認定

DXマインドアップセミナー

DX活用人財

全員

- ✓ 管理職向け、一般職向けそれぞれのセミナーを開催し、全社でDX推進の意識を醸成

kintoneに関するインプット

- ✓ 全社教育や部門毎ワークショップを開催
- ✓ 合計で20回以上、参加者1,000名超が受講

DXマインドアップセミナーの様子



今後も2023年10月に策定した「北陸電力DX戦略」に基づき、DXの加速・定着を図っていく

北陸電力のDX戦略 (2023年10月策定)

これまでの取組み

今後の取組み

DX戦略策定・本社でのDX推進

グループ全体へのDX展開

DXの加速・定着

方針①

生産性向上

Action①

業務の高度化

- AIによる電力需給予測
- AIによるボイラー制御
- 石炭配船計画最適化

Action②

柔軟・効率的な働き方

- RPA活用
- ダム監視制御リモート化
- kintoneのグループ展開
- FAQサイト／AI生成回答

方針②

新たな価値創造

Action③

付加価値サービスの提供

- 自販機遠隔検針サービス
- 電気でつながりサポート
- デマンド監視サービス
- ほくリンクアプリでのサービス
- ほくリンクアプリ提供

Action④

地域の課題解決・貢献

- EV活用の災害時電力確保サービス
- 次世代層向け教育・学習WEBサイト開設
- 熊被害検知AIサービス

方針③

変化に対応可能な環境整備

Action⑤

システム基盤の見直し

- 基盤構成の見直し
- アジャイル開発の推進 (LingoGPT)

Action⑥

DX人財の育成

- 階層別DX人財の定義
- 階層別教育の実施

DX人財の育成や
データの利活用を
継続的に推進

DXでビジネス
を加速・進化